



市民有志で「共謀罪」法案に反対して抗議する人たち＝17日、国会正門前

# 説明できない法律つくるな

## 「共謀罪」反対

「共謀罪」法案の廃案、安倍政権打倒を求める抗議が17日夜、国会正門前で行われました。市民の呼びかけで1000人（主催者発表）が参加。「共謀罪反対」「説明できない法律つくるな」とコールしました。

ドラムの音が響く国会前。集まった人びとは、国民の声を軽視する安倍政権に対して「共謀罪はもともと、安倍政権の政治を終わりにしたい」と怒りま

権は「テロのリスクが高まっている」というけれど、日本で一番のリスクは安倍政権そのものです」

埼玉県越谷市に住む大学1年生の女性(18)は国会前に初めて足を運びました。「ツイッターで抗議を知って、様子を見て来ました。共謀罪なんて必要のないのに、強引に通そうとするなんておかしい」と語りました。

### 法案の採決認めない

自治労委員長が表明

自治労の川本淳委員長は18日、東京都内で会見し、「共謀罪」法案について「(審議)時

た。

川本氏は、乱用の恐れが消えないとして、「権利を求める運動の規制につながるかねない」という危機感をもっている」と強調。反戦運動や労働運動も対象となりかねず、過去に正当な組合活動が訴追された例もあるとして、「運動自体が窒息させられないようにたたかいをすすめていく」とのべました。

自治労は25日に開く中央委員会で「安倍政権や自民党が企図する『憲法改正』を阻止するため、取り組みを強化します」との方針を提案する予定。川本氏は会見で、安倍首相の改憲表明について「2020年などの時期を区切るべきではない」と語りました。